



2020年12月15日

各 位

会 社 名 パーク24株式会社  
代表者名 代表取締役社長 西川 光一  
(コード：4666、東証第一部)  
問合せ先 取締役専務執行役員経営企画本部長  
佐々木 賢一  
(TEL：03-6747-8120)

## 2020年10月期通期連結業績予想と実績の差異及び 特別損失の計上に関するお知らせ

2020年6月15日に公表しました2020年10月期通期業績予想と本日公表の実績の差異及び特別損失の計上につきまして、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2020年10月期通期連結業績予想と実績の差異(2019年11月1日～2020年10月31日)

	売 上 高	営 業 利 益 又 は 損 失	経 常 利 益 又 は 損 失	親会社株主に帰 属する当期純利 益 又 は 損 失	1 株 当 たり 当期純利益又は 損 失
前回発表予想(A)	百万円 263,000	百万円 △24,200	百万円 △25,000	百万円 △25,500	円 銭 △164.94
実績(B)	268,904	△14,698	△15,168	△46,652	△302.00
増 減 額(B-A)	5,904	9,501	9,831	△21,152	△137.06
増 減 率( % )	2.2%	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (2019年10月期)	317,438	22,322	21,566	12,348	79.79

#### 2. 差異が発生した理由

2020年10月期連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の拡大によって大変厳しい経営環境となったことにより、2020年6月15日に感染症の影響を反映した業績予想の修正を行いました。

売上高につきましては、モビリティ事業の車両売却が想定以上に進捗したことにより前回発表予想を上回る結果となりました。営業損失、経常損失につきましては、不採算駐車場への対応をはじめ、各事業の管理・メンテナンスの見直しや人件費の抑制等、可能な限りのコスト抑制を実施したことにより、前回発表予想を上回る結果となりました。また、親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、「3. 特別損失の内容」に記載のとおり、特別損失34,043百万円を計上した結果、前回発表予想との乖離が大きくなりました。

### 3. 特別損失の内容

世界的に感染症の収束の見通しが立たない状況を踏まえ、海外子会社 Secure Parking Pty Ltd (豪州、ニュージーランド)及びNational Car Parks Limited (英国)の将来計画の見直しを慎重に行った結果、各社の株式取得時に超過収益力を前提として計上したのれん及び契約関連無形資産について、投資額の回収が困難であると判断し、未償却残高のうち24,229百万円を減損損失として計上いたしました。

また、国内外事業の固定資産につきましても、上記同様の理由により駐車場設備、使用権資産等について7,709百万円の減損損失を計上した他、駐車場施設等の臨時休業にかかる損失や海外子会社の事業構造改善費用等を計上した結果、特別損失は34,043百万円となりました。

なお、詳細な内訳は以下の通りです。

(単位：百万円)

	金額
減損損失	31,938
のれん及び契約関連無形資産	24,229
のれん	19,378
契約関連無形資産	4,850
固定資産(駐車場設備、使用権資産等)	7,709
駐車場施設等の臨時休業にかかる損失	790
事業構造改善費用	272
その他	1,041
特別損失 合計	34,043

以 上